

か と さ と る 加戸 悟

市議会だより



あまりにも
ヒドイ
徳島市の予算

「財政危機宣言」の徳島市… ムダな大型公共事業を推進し、 一方で市民にガマンを押しつけ

「財政危機宣言」を唱える原市政・予算の特徴は、莫大な予算の鉄道高架などムダな大型公共事業を推進する一方で、市民には「財政難」だからと、「ガマン」を押しつけていることです。この予算案に、日本共産党市議団六名と、市民ネット一名は反対：私どもは「ムダな大型公共事業は中止、見直して、予算を福祉や防災にまわすよう」求めました。



大切な公共事業に混じっている 四つの「ムダな大型公共事業」

道路や橋や学校を建設し補修するなど、大切な公共事業はたくさんありますが、その中に、県外の大手ゼネコンなどが請け負う四つの「ムダな大型公共事業」が混じっています。その莫大な費用が徳島市の財政を圧迫していますが、中止や見直しをすべきです。その四つとは…

- ① 千億円(最近七百五十億円)に修正)の「鉄道高架」(裏面に詳細)。
- ② 川内の農業用水を、現在の旧

吉野川から吉野川に切り替えるためだけに行われている千三百十億円の「農地防災」。

③ 猿やイノシシしか通らないと、地元の人たちが揶揄している上勝町から八多町への二百五十億円の「広域農道」。

④ 合併浄化槽なら六百億円で、しかも即、設置できるとされているのに、十五年もかけて布設する二市四町(徳島市は川内・応神)の二千億円の「流域下水道」。



「財政難だからガマンせよ」と

国民健康保険料を高く値上げし、

国民健康保険料…全国トップクラスの高い保険料を、さらに四％連続値上げ…今、市民

の四十二％が加入している国民健康保険ですが、その保険料は全国トップクラス【県庁所在都市で所

得に占める保険料の割合が全国一位でしたが、今は三位】に高いんです。それを前年度の七％値上げに引き続き、今年度も四％値上げする予算です。

介護保険料…一億九千万円の繰入金を廃止し、一ヶ月千八百円も値上げ…六

十五才以上の介護保険料の基準額が、一ヶ月四千二百円から五千二百八十円に、千八百円も値上げする予算です。

その大きな要因は、「財政難」だからと、一般会計からの繰入金一億九千万円を廃止したこと。徳島新聞は「大幅増で全国トップクラスの介護保険料」と報道しています。

「喜寿の敬老祝い金を廃止」

…喜寿の祝い金一万円を廃止しました。高松市は喜寿に一万円、米寿に三万円。松山市は喜寿に二万円、米寿に三万円支給しています。

「敬老の日記念品を廃止」…八

十五才以上の記念品(一枚百五十円



ほどのタオル)を廃止し、百才の三万円を二万円に削減。

「介護保険外のホームヘルパー廃止」

介護保険が適用されていない高齢者のお宅にホームヘルパーさんが来てくれていた制度を廃止。

「高齢者マッサージ治療費補助削減」

七十五才以上の方に千円のマッサージ割引券を二十四枚発行していましたが、十二枚に減らし八百円に削減。

「高齢者配食サービス負担増」

一人暮らし高齢者等の安否確認も兼ねて行われている配食サービスですが、三百円から五百円(非課税は三百七十円)に自己負担増。

「基本健康検査」：無料を千五百円に値上げ・受診率の低下も大問題



健康検査を実施している自治体のうち有料は十七で受診率平均は三十%、無料は八で受診率平均は五十三・九%です。無料

の徳島市の受診率は六十・六%：受診率を高めたことが、検診結果に基づいて、早期発見・早期治療をすすめることに結果しています。無料を千五百円にすることは、市民の負担増と併せ、受診率の低下も招く大問題です。

鉄道高架はなぜこんな大変な事業なのか？ 市議会で明らかになった幾つもの理由

鉄道高架計画の八十五%が牟岐線
：五百億円をかけた高架化する？

「混雑踏切の解消」が鉄道を高架化する大きな理由ですが、徳島の鉄道高架計画で大問題なのは、高架化する踏切十三のうち十一：八十五%もが牟岐線にあることです。
牟岐線の列車本数は、一日六十一

本：一時間にわずか二〜三本しか通っていない赤字路線です。
鉄道高架事業は、鉄道高架に五百億円、それに伴うまちづくりは五百億円(最近二百五十億円に修正)とされていますが、牟岐線の高架化に五百億円



乗客が少ない一両の牟岐線

もかけるムダづかいに対し、大きな怒りが広がっています。

現在、国土交通



『開かずの踏切』

省が「鉄道高架が必要」と力を入れているのが、踏切事故が多発している『開かずの踏切』解消。『開かずの踏切』とは、

ピーク一時間あたり四十分以上遮断している踏切で、現在、全国に五百ヶ所もあります。

徳島の「お花畑踏切」のピーク一時間あたりの遮断時間は二十三分で、『開かずの踏切』のわずか半分：お花畑踏切が混雑していたのは二十年ほど前で、今は遮断時間が半減しています。

二軒屋の地権者九割が 鉄道高架の中止を求める

地権者の九割を組織する『二軒屋駅東地区 区画整理・市街地再開発反対同盟』は、『鉄道高架に利用されるまち



二軒屋反対同盟
…県庁前

づくりに一切応じない」とし、『鉄道高架の中止を求める連絡会』の中心的な役割を果たしています。

鉄道高架の理由であった 南北自動車道計画は消滅

徳島駅の南北を、自動車道で結ぶ計画が進行していましたが、「徳島城址の史跡保護」と「城山の原生林保護」を理由に消滅しました。

この南北自動車道計画が、鉄道を高架にする大きな理由でしたから、計画が消滅した時点で、「鉄道高架は無くなった」というのが大勢：今もその状況は変わっていません。

完成は二十年后

子どもたちが遊ぶ公園



もう一つの理由が「財政難」です。財政危機宣言の徳島市は、鉄道高架のようなムダな大型公共事業の中止や見直しをして、福祉や防災など、市民の命や暮らしを守ることにこそ、予算を使うべきです。

鉄道高架の完成は二十年后。未来を担う子どもたちに、大きなツケをまわすべきではありません。

四月、国が鉄道高架の着工準備採択を強行しましたが、同時に、鉄道高架の中止を求める広範な市民運動がスタートしました。